

＝若き霊よ 安らかに眠りたまえ＝

岩木山で遭難の 鳳鳴高校生徒 合同慰霊祭がしめやかに

岩木山で遭難した鳳鳴高校生、石田隆司（2年、神明町）畠山勉（2年、二丁目）乳井孝司（2年、比内町扇田）金沢吉郎（1年、東台）の4君の霊を弔う合同慰霊祭が、1月24日、母校の鳳鳴高校体育館でしめやかにおこなわれました。

この慰霊祭には、遺家族をはじめ、秋田、青森両県の副知事、学校関係者、体育関係者、在校生のほか一般市民、合せて約2000人が参列し、午前11時、同校ブラスバンドの奏する「葬送曲」で開式、大館仏教会の導きにより儀式が進められました。

まず、導師の読経のうちに遺族の焼香をおわり、校長が「遭難の原因を科学的

に究明し、数多くの教訓を残した4君の死を無駄にしないで、あとに続く者へのいましめとしたい」旨あいさつされたあと、参会者から弔辞がのべられ、また、遺族を代表して、石田君の父、久助さんから、遭難でご迷惑をかけたことのお詫びと各方面からよせられたご厚意に対してお礼がのべられ、参列者の焼香で式をとりまじました。

体育館の中央祭壇には、4君の遺影とともに、ピッケルなどの遺品がかざられ一層の悲しみをそそりましたが、参列者には、4君のご冥福を祈る心と、この悲劇を二度とくり返すまいというかたい決意がうかがわれました。

◆遭難のいきさつ

1月4日、石田君をリーダーとする鳳鳴高校山岳部6人のパーティーは、岩木山登山にでかけ、6日朝、八合目の焼止ヒュッテ附近に設営したベースキャンプに三ツ倉省一郎君（2年、二丁目）を残して山頂アタックをこころみ、11時過ぎ登頂に成力した。昼過ぎ下山をはじめたとき天候が急変し、風速40mの吹雪をともなう強風雪で視界がきかなくなり、積雪3～4mの頂上付近で道に迷い遭難したものです。

7日、三ツ倉君から連絡を受けた弘前警察署では、ただちに救助隊を編成し、自衛隊や青森県警機動隊、地元警察署、消防団と協力して救助に向ったところ、10日午後1時、登山口と反対側の西郡鯉ヶ沢町地内大鳴沢下流で雪の中にうずくまっている村井康秀君（2年、昭和町）を98時間ぶりに救出した。救助隊は、この奇蹟的な救出の成功に一縷ののぞみをかけて捜索に全力をつくしたが、そのかきもなく残る4君は、吹雪の岩木山で遺体となって発見された。

毎年夏、市民登山で親しまれている岩木山、遭難事故のない山として知られている岩木山で、しかも、30数年来無事故を誇りとしていた鳳鳴高校山岳部生が遭

難するとは……全く想像もできないことで、この悲劇にうちひしがれた市民はいまただ、4君の霊に、岩木の山ふところに抱かれて安らかに眠れ！と祈るばかりです。

◆遭難が教えるもの

高校山岳史上かつてない事故をおこした今回の遭難は、私たちに多くの教訓を残しましたが、遭難の原因は

- ①冬山登山の経験にとぼしいため、冬山の厳しい気象条件をあまくみたこと
- ②学生が登山するときは、部長や先輩などのベテランと同行するのが普通であ

るが、今回は同僚だけで登山したこと
③ベテランのリーダーがいないため、天候の急変で動揺したこと

以上のことにつきますと思います。

冬山登山は、体力、精神力、知識、技術、装備を条件としますがこれに、ベテランのリーダーがおれば、適確な状況判断で冷静な行動がとれ、遭難事故はふせげたいと思います。

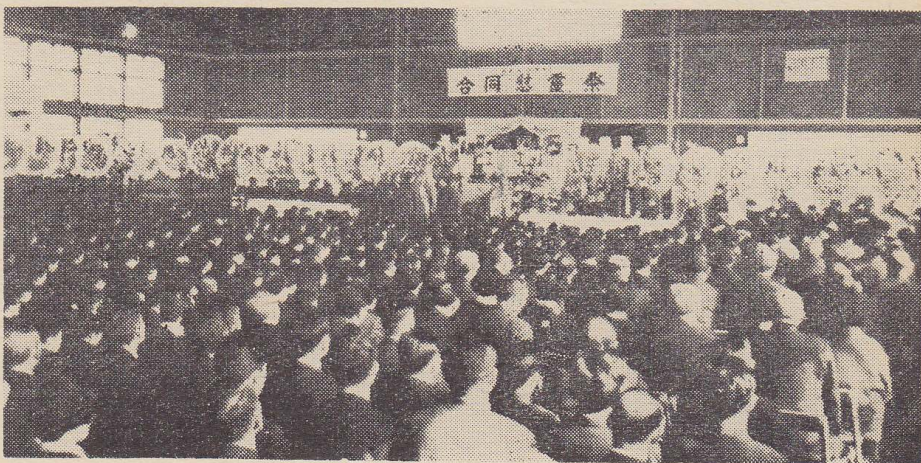
捜索に加わった延人員約2,300人、その費用数千万円、全国から見舞の手が差しのべられたことに思いをいたし、二度とこのような悲劇をくり返さないようみんな注意し指導しなければなりません。

山好きの人は何としても山へ登りたくなるでしょうから、それを若い人の場合ただ危険だからとおさえつけると、親に隠してでも登るようになり、かえって悪い結果を招くことになります。

そのような計画がありましたら、本人の体力や実力の限界をよくわきまさせこのたびの遭難を思いおこして父兄も一緒に相談し、若さと体力だけにたよって無理をしないよう余裕のある計画をたてなければなりません。それに、ベテランのリーダーと同行することが絶対必要です。今回の遭難にこりずに、綿密な計画と行動でスポーツの安全性を高め次代を担う立派な体力の養成につとめましょう。

[1月15日、北鹿新聞社主催の鳳鳴高校生岩木山遭難座談会から集約]

写真は鳳鳴高校体育館でおこなわれた合同慰霊祭



あなたの車はスリップしませんか

立春がすぎたとはいえ、朝夕はまだ相当地冷えこみます。それに、今年は、雪が少いため、スリップによる交通事故が多く発生しております。

大館警察署管内における1月中の交通事故は20件で、死者1名、負傷者6名の犠牲者を出し、更に今月に入ってから1名の死者を出しております。

事故原因で最も多いのは、スリップによる事故で6件、次いで、酒のみ運転が

4件となっております、これからも多くなる傾向にあります。

明るい幸福な家庭を守るため、あなたの家庭から事故者や犠牲者をださないよう、次のことにご注意ください。

☆運転者は酒を飲まない

運転者には酒を飲ませない

☆自動車には必ずスベリ止め装置をし

安全運転でスリップを防ぐ

☆お子さんを道路で遊ばせない

明日への幸福 簡易保険

思わぬ災害にあったとき、あなたの家計のピンチを救う簡易保険

交通事故など、思わぬ事故で死亡したときは、保険金の2倍を支払う「倍額支払」の制度がある簡易保険

学校、病院、道路、橋の建設など郷土の発展に役立っている国営の生命保険 簡易保険

郵便局の簡易保険へご加入ください